

第2回 漢方生薬ソムリエ（初級）試験

試験問題

試験日程	: 平成 27 年 8 月 30 日
注意事項の説明	: 13:45～14:00 (15 分)
試験（筆記及び鑑定）	: 14:00～16:00 (120 分)
退席可能時間	: 15:00～15:45

受験上の注意

1. 試験問題冊子は監督者の指示があるまで開かないでください。
2. 問題冊子、筆記試験解答用紙、鑑定試験解答用紙、各 1 部ずつ配布します。
3. 試験開始前に解答用紙に氏名を正しく記入してください。
4. 試験開始後、直ちに問題冊子に落丁がないか確認してください。全 18 ページです。
5. 筆記試験問題の出題数は全部で 80 問です。解答用紙に正解の番号をぬりつぶしてください。不鮮明なもの、各試問について複数の番号をぬりつぶしたものは採点しません。
6. 鑑定試験は 1 人 10 分です。指示に従って場所を移動して鑑定試験を開始してください。
7. 鑑定試験の生薬は 20 種類です。解答の記入は鑑定試験時間後、着席してからでも結構です。
8. 試験問題はお持ち帰りください。
9. 試験中は監督者の指示に従って下さい。

設問の注意

1. 設問にある「日本薬局方」とは、「追補」を含め最新のものを指します。平成 27 年 8 月現在、第十六改正日本薬局方、第十六改正日本薬局方第一追補及び第二追補が公示されています。
2. 設問の解答は、日本薬局方に収載されている生薬の範囲内と致します。
3. 日本薬局方の条文では、生薬名はカタカナで表記されますが、設問では漢字で表記しています。但し、生薬名の英語又はラテン語表記の知識を問う問題はこの限りではありません。



日本漢方生薬ソムリエ協会

Japan Kampo Shoyaku Sommelier Association

問（１） 次を示す生薬の中で、ミカン科に由来する生薬はどれか、一つ選べ。

- ① COPTIDIS RHIZOMA
- ② PHELLODENDRI CORTEX
- ③ POLYGALAE RADIX
- ④ POGOSTEMONI HERBA
- ⑤ PEUCEDANI RADIX

問（２） 次を示す生薬の中で、セリ科に由来するものはどれか、一つ選べ。

- ① チョレイ
- ② ケイガイ
- ③ センコツ
- ④ シツリシ
- ⑤ ジャショウシ

問（３） 次を示す生薬の中で、ショウガ科 (Zingiberaceae) 植物でないものはどれか。一つ選べ。

- ① ウコン
- ② カンキョウ
- ③ シュクシャ
- ④ ニクズク
- ⑤ リョウキョウ

問（４） 葛根の原植物の形態として正しい記述を一つ選べ。

- ① 常緑の蔓性植物である。
- ② 花は黄色い
- ③ 豆果（莢）は無毛である。
- ④ 葉は3枚の小葉からなる。
- ⑤ 初夏に花が咲く

問（５） 次の生薬の原植物において、1年の中で開花時期が最も早いものはどれか、一つ選べ。

- ① 細辛
- ② 防風
- ③ 附子
- ④ 荊芥
- ⑤ 桔梗

問（6） 以下に示す生薬の中で、原植物の葉が対生するものはどれか、一つ選べ。

- ① CINNAMOMI CORTEX
- ② ZANTHOXYLI FRUCTUS
- ③ ATRACTYLODIS RHIZOMA
- ④ FORSYTHIAE FRUCTUS
- ⑤ CORNI FRUCTUS

問（7） 以下に示す生薬の中で、原植物が草本であるものはどれか、一つ選べ。

- ① 紫根
- ② 地骨皮
- ③ 猪苓
- ④ 丁香
- ⑤ 麻黄

問（8） オウレンの原植物に関する記載内容で間違っているものを一つ選べ。

- ① *Coptis* 属植物である。
- ② 初夏に花が咲く。
- ③ 花（花被片）は白い。
- ④ 種子は採りまきするとすぐに芽生える。
- ⑤ 日本でも以前は多く栽培されていた。

問（9） 次の生薬のうち、原植物が同じ科名に由来するものの組み合わせはどれか。一つ選べ。

- ① サフランと貝母
- ② 生姜と羌活
- ③ 甘草と黄精
- ④ アロエと知母
- ⑤ 決明子と地骨皮

問（10） 次に示す生薬の原植物で、裸子植物に分類されるものはどれか。一つ選べ。

- ① *Fritillaria verticillata* var. *thunbergii*
- ② *Imperata cylindrica*
- ③ *Gastrodia elata*
- ④ *Polygonum multiflorum*
- ⑤ *Ephedra equisetina*

問 (11) 次の生薬のうち、原植物が単子葉類に分類されるものはどれか。一つ選べ。

- ① 烏薬
- ② 麦門冬
- ③ 藿香
- ④ 羌活
- ⑤ 麻子仁

問 (12) 次の生薬のうち、原植物が黄色の花を咲かせるものはどれか。一つ選べ。

- ① 五味子
- ② 黄柏
- ③ 大黄
- ④ 決明子
- ⑤ 黄芩

問 (13) 次の生薬のうち、一般に、原植物が雌雄異株であるものはどれか。一つ選べ。

- ① 麻黄
- ② 黄連
- ③ 甘草
- ④ 川芎
- ⑤ 丁香

問 (14) 山梔子の表面にある稜線の数（通例）を下記より一つ選べ。

- ① 9
- ② 8
- ③ 7
- ④ 6
- ⑤ 5

問 (15) 写真に示す植物の薬用部位はどれか、一つ選べ。

- ① 花（花蕾）
- ② 果実
- ③ 樹皮
- ④ 根皮
- ⑤ 木部



問 (16) 写真に示す薬用植物は何科に属するか、一つ選べ。

- ① Lauraceae
- ② Rhamnaceae
- ③ Rosaceae
- ④ Rutaceae
- ⑤ Berberidaceae



問 (17) 写真に示す薬用植物は何の原植物か、一つ選べ。

- ① カロコン
- ② ボウイ
- ③ カッコン
- ④ ウコン
- ⑤ コウイ



問 (18) 写真に示す薬用植物は何の原植物か、一つ選べ。

- ① サンソウニン
- ② サンシシ
- ③ トウヒ
- ④ コウボク
- ⑤ シンイ



問 (19) 写真に示す植物に由来する日局収載生薬はどれか、一つ選べ。

- ① 附子
- ② 香附子
- ③ 茅根
- ④ 三稜
- ⑤ 粳米



問 (20) 写真に示す植物と原植物が同じ科に属する生薬はどれか。一つ選べ。

- ① 白朮
- ② 当帰^キ
- ③ 地骨皮
- ④ 附子
- ⑤ 山梔子



問 (21) 水を加えて突き砕くとき、ベンズアルデヒドのにおいを発する生薬はどれか。一つ選べ。

- ① ショウキョウ
- ② キョウニン
- ③ ケイヒ
- ④ コウボク
- ⑤ リュウコツ

問 (22) [6]-ギンゲロールを含む生薬はどれか、一つ選べ。

- ① ウコン
- ② ゲンノショウコ
- ③ ショウキョウ
- ④ レンギョウ
- ⑤ ボクソク

問 (23) 甘みを全く感じない生薬はどれか、一つ選べ。

- ① HYDRANGEAE DULCIS FOLIUM
- ② KOI
- ③ GLYCYRRHIZAE RADIX
- ④ ZINGIBERIS PROCESSUM RHIZOMA
- ⑤ ORIZAE FRUCTUS

問 (24) 鑑定に際し、硬さや重量感から龍骨と間違えやすい生薬を一つ選べ。

- ① カッココン
- ② カロコン
- ③ サンヤク
- ④ ブクリョウ
- ⑤ ハンゲ

問 (25) 次の生薬の組み合わせの内、他の組み合わせと異なるのはどれか、一つ選べ。

- ① ジコッピ / クコシ
- ② ニジドウ / キンギンカ
- ③ ソヨウ / シソシ
- ④ ショウキョウ / カンキョウ
- ⑤ カロコン / カロニン

問 (26) 酸棗仁に関する記載内容で間違っているものを一つ選べ。

- ① 原植物は大棗とは全く異なる。
- ② 本品は扁平な卵形～円形でレンズ状を呈する。
- ③ 外面は褐色～暗赤褐で、つやがある。
- ④ 保存は密閉容器内とする。
- ⑤ 養心安神薬として不眠症などに応用される。

問 (27) 次の生薬の内、日本と中国で薬用部位が異なるものはどれか、一つ選べ。

- ① イレイセン
- ② ウコン
- ③ ジコッピ
- ④ ソウハクヒ
- ⑤ ヤクモソウ

問 (28) 次の生薬のうち、薬用部位が同じものの組み合わせはどれか。一つ選べ。

- ① 茴香と枸杞子
- ② 桔梗と竹節人参
- ③ 菝葜と半夏
- ④ 牡丹皮と芍薬
- ⑤ 防己と防風

問 (29) 次の生薬のうち、薬用部位が異なるものの組み合わせはどれか。一つ選べ。

- ① 芍薬と竜胆
- ② 大黃と刺五加
- ③ 牛蒡子と枸杞子
- ④ 桜皮と杜仲
- ⑤ 龍胆と細辛

問 (30) 桜皮に関する記載で正しいものを一つ選べ。

- ① Prunus 属であればどれも原植物として利用できる。
- ② ヤマザクラとオオシマザクラのみが原植物として利用できる。
- ③ ソメイヨシノの樹皮は日局品として使用できない。
- ④ 樹皮は通例秋期に剥ぐ。
- ⑤ 薬用にはコルク皮を剥ぐ。

問 (31) 写真に示す植物に由来する生薬が、収穫後に加工調製される工程として正しいものはどれか。一つ選べ。

- ① 皮を去る
- ② 湯通し
- ③ 芯を除く
- ④ 水蒸気で蒸す
- ⑤ 酒に浸して蒸す



問 (32) 写真に示す植物に由来する生薬が、一般に収穫後に経る加工調製の工程として誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ① 水で洗浄
- ② 湯通し
- ③ 加熱乾燥
- ④ ハサ掛け (外気による自然乾燥)
- ⑤ 地上部の除去



問 (33) 写真に示す植物に由来する日本薬局方収載生薬はどれか。一つ選べ。

- ① Artemisia Leaf
- ② Malberry Bark
- ③ Picrasma Wood
- ④ Lycium Fruit
- ⑤ Cornus Fruit



問 (34) 写真の植物と同じ科の植物を基原とする生薬はどれか、一つ選べ。

- ① 甘草
- ② 釣藤鈎
- ③ 蒼朮
- ④ 蘇葉
- ⑤ 五味子



問 (35) 現在、国内で使用される生薬に関し、国内産生薬の占める割合(数量ベース)はどの程度か、一つ選べ。

- ① 約 3%
- ② 約 5%
- ③ 約 12%
- ④ 約 18%
- ⑤ 約 30%

問 (36) 次に挙げる生薬で、原植物が日本には自生しないものを一つ選べ。

- ① エンゴサク
- ② カゴソウ
- ③ キキョウ
- ④ ゴミシ
- ⑤ テンマ

問 (37) 現在日本で使用する全量を輸入品でまかなっている生薬はどれか、一つ選べ。

- ① 大黃
- ② 麻黄
- ③ 山藥
- ④ 黄連
- ⑤ 黄柏

問 (38) 次に挙げる生薬で、原植物が日本で薬用目的に大量に栽培されているものを一つ選べ。

- ① レンギョウ
- ② ゴミシ
- ③ キクカ
- ④ オウヒ
- ⑤ シャクヤク

問 (39) 現在の人参の3大産地はどこか。次の組み合わせから選べ

- ① 長野県・福島県・島根県
- ② 香川県・山口県・鹿児島県
- ③ 愛知県・福岡県・山口県
- ④ 茨城県・石川県・栃木県
- ⑤ 宮崎県・高知県・和歌山県

問 (40) 以下の生薬の中で、国内での使用量（国内製品向け使用量、海外工場生産分を含む）が中国産より日本産の方が多いいものはどれか、一つ選べ。

- ① 桜皮
- ② 黄連
- ③ 葛根
- ④ 当帰
- ⑤ 人参

問 (41) 生薬と主たる産地の組み合わせで正しくないものはどれか、一つ選べ。

- ① 人参 / 吉林省
- ② 黄連 / 四川省
- ③ 芍薬 / 安徽省
- ④ 細辛 / 遼寧省
- ⑤ 陳皮 / 河北省

問 (42) 沢瀉について正しくない記述を下記より一つ選べ。

- ① 川沢瀉の主産地は四川省・湖北省・福建省・江西省である。
- ② 建沢瀉の主産地は福建省・江西省である。
- ③ 川沢瀉の主産地は四川省・湖北省・貴州省・雲南省である。
- ④ 建沢瀉より川沢瀉のほうが、エキス含量が高い傾向がある。
- ⑤ 原植物は川沢瀉も建沢瀉もサジオモダカで同一である。

問 (43) 日本薬局方において、気密容器での保存が規定されているものはどれか。一つ選べ。

- ① 茯苓末
- ② 甘草末
- ③ 山梔子末
- ④ 芍薬末
- ⑤ 当帰末

問 (44) 黄連の煎じ液に加えると沈殿を生じる試薬（化学物質）はどれか、一つ選べ。

- ① アルカロイド
- ② タンニン
- ③ アンモニア
- ④ 希塩酸
- ⑤ 希硫酸

問 (45) 粉末に水を加え、激しく振ると持続性の泡が生じる生薬を一つ選べ。

- ① オウバク末
- ② ゲンノショウコ末
- ③ キキョウ末
- ④ コウジン末
- ⑤ ヨクイニン末

問 (46) ドラーゲンドルフ試液で沈殿を起こす生薬はどれか、一つ選べ。

- ① キササゲ
- ② ニンジン
- ③ ウイキョウ
- ④ クジン
- ⑤ キジツ

問 (47) 牡丹皮の主成分を下記より一つ選べ。

- ① シノメニン
- ② マグノロール
- ③ オフィオポゴニン
- ④ リグスチリド
- ⑤ ペオノール

問 (48) 当帰と川芎に関する記載で、正しいものはどれか、一つ選べ。

- ① 当帰と川芎はいずれも根を加工して生薬とする。
- ② 当帰はセリ科、川芎はアカネ科の植物を基原とする。
- ③ 当帰及び川芎は一つの処方に同時に配合されることがあるが、いずれも主成分としてリグスチリドを含有する。
- ④ 通常、当帰は野生、川芎は栽培品である。
- ⑤ 当帰の花は白色、川芎の花は黄色である。

問 (49) 杏仁と桃仁に関する記載で、誤っているものはどれか、一つ選べ。

- ① 杏仁はアンズ、桃仁はモモの種子を基原とする。
- ② 形状は比較的類似であるが、桃仁の方が杏仁よりやや細長く、種皮の石細胞の形状でも区別できる。
- ③ 杏仁、桃仁とも青酸配糖体であるアミグダリンを含有する。
- ④ アミグダリン含量は一般的に桃仁より杏仁が高含量である。
- ⑤ 杏仁と桃仁はいずれも神農本草経下品に収載され、漢方では概ね同様の目的で配合される。

問 (50) 陳皮と枳実に関する記載で、誤っているものはどれか、一つ選べ。

- ① 陳皮は成熟果皮、枳実は成熟果実を基原とする
- ② フラボノイド配糖体として、陳皮はヘスペリジン、枳実はナリンギンが主成分である。
- ③ 陳皮、枳実とも六陳に該当する生薬で、陳久品が良品とされる。
- ④ 陳皮、枳実ともにミカン科植物を基原とするが、原植物は異なる。
- ⑤ 大柴胡湯には枳実が配合されるが、陳皮は配合されない。

問 (51) 人参と竹節人参に関する記載で、誤っているものはどれか、一つ選べ。

- ① 人参と竹節人参はいずれもウコギ科植物に由来する。
- ② いずれもステロイド或いはトリテルペノイド系のサポニンを含有する。
- ③ いずれも日本では野生品は見られない。
- ④ 人参は根、竹節人参は根茎を加工したもの。
- ⑤ 人参は生干しだけでなく、蒸すなどして加工する場合があるが、竹節人参は一般に生干しである。

問 (52) 横切片の鏡検で一般に確認困難なものどれか。一つ選べ。

- ① 石細胞の有無
- ② でんぷんの複粒
- ③ シュウ酸カルシウムの結晶形
- ④ 道管の径
- ⑤ 道管の種類

問 (53) *Hedysarum* 属植物と区別するため、日局で縦切片上、繊維束外辺にシュウ酸カルシウムの結晶細胞列がないことを純度試験で規定している生薬はどれか、一つ選べ。

- ① *Astragalus Root*
- ② *Peony Root*
- ③ *Gastrodia Tuber*
- ④ *Glehnia Root and Rhizome*
- ⑤ *Saposhnikovia Root and Rhizome*

問 (54) 日本薬局方において、センナに規定される成分含量の規定で正しいものはどれか。一つ選べ。

- ① 総センノシド(センノシド A 及びセンノシド B) 0.25%以上
- ② 総センノシド(センノシド A 及びセンノシド B) 1.0%以上
- ③ 総センノシド(センノシド A 及びセンノシド B) 2.0%以上
- ④ センノシド A 、0.25%以上
- ⑤ センノシド B 、0.25%以上

問 (55) 次に示す生薬の中で、植物の水製乾燥エキスに由来するものはどれか。一つ選べ。

- ① アセンヤク
- ② インチンコウ
- ③ コウイ
- ④ ロジン
- ⑤ ローヤルゼリー

問 (56) 次の文章に該当する生薬はどれか。一つ選べ。

本品はウコギ科の植物の根に由来し、軽く湯通しした根や、蒸したりした根が流通する。成分としてギンセノシドを含有する。

- ① ニンジン
- ② ジオウ
- ③ オウレン
- ④ ダイオウ
- ⑤ カノコソウ

問 (57) 龍骨に関する記載で、誤っているものはどれか。一つ選べ。

- ① 大型ほ乳動物の化石化した骨である。
- ② 不定形の塊又は破片で、ときに円柱状の塊である。
- ③ におい及び味がない。
- ④ なめるとき、舌に強く吸着しない。
- ⑤ 密閉容器に保存する。

問 (58) 次の生薬の原植物の中で、日陰（樹陰）に生育するものはどれか。一つ選べ。

- ① PINELLIAE TUBER
- ② GERANII HERBA
- ③ RHEI RHIZOMA
- ④ ANEMARRHENAE RHIZOMA
- ⑤ ASIASARI RADIX

問 (59) 黄連末の日局純度試験に関する以下の記載で【 】内の記載として正しいものはどれか。一つ選べ。

本品 0.5g に水 2.0mL を加えてかき混ぜるとき、【 】。

- ① 液は無色を呈する。
- ② 液はゲル状を呈する
- ③ 液はゲル状を呈しない
- ④ 液は白濁する
- ⑤ 微細な気泡を生じる

問 (60) 次の日局純度試験に該当する生薬はどれか。一つ選べ。

「本品の粉末を鏡検するとき、柔組織中に集晶を認めない。」

- ① 甘草
- ② 芍薬
- ③ 升麻
- ④ 沢瀉
- ⑤ 浜防風

問 (61) 次の日局確認試験に該当する生薬はどれか。一つ選べ。

「本品 1g に温湯 2mL を加えて 10 分間放置するとき、種皮は膨起して粘液を出す。」

- ① PLANTAGINIS SEMEN
- ② ARMENIACAE SEMEN
- ③ PHARBITIDIS SEMEN
- ④ ZIZYPHI FRUCTUS
- ⑤ CATALPAE FRUCTUS

問 (62) 次の生薬の中で、日局でアミグダリン含量が 1.2%以上であることが規定されているものはどれか。一つ選べ。

- ① 海人草
- ② 桃仁
- ③ 麻子仁
- ④ 酸棗仁
- ⑤ 薏苡仁

問 (63) 次の生薬成分のうち、イソフラボノイドはどれか。一つ選べ。

- ① プエラリン
- ② ヘスペリジン
- ③ ペオニフロリン
- ④ ギンセノシド Rb₁
- ⑤ バイカリン

問 (64) 次の生薬成分のうち、アルカロイドでないものはどれか。一つ選べ。

- ① ベルベリン
- ② アレコリン
- ③ エメチン
- ④ マグノフロリン
- ⑤ バイカリン

問 (65) 『駆虫薬』である生薬を下記より一つ選べ。

- ① 檳榔子
- ② 附子
- ③ 桑白皮
- ④ 竜胆
- ⑤ 桜皮

問 (66) 『駆瘀血薬』でない生薬を下記より一つ選べ。

- ① 川芎
- ② 牡丹皮
- ③ 桃仁
- ④ 蒼朮
- ⑤ 川骨

問 (67) 鎮咳去痰薬を下記より一つ選べ。

- ① 天門冬
- ② 桔梗
- ③ 車前子
- ④ 桃仁
- ⑤ 薄荷

問 (68) 牡蠣に関する記載で間違っているものはどれか、一つ選べ。

- ① 鎮静作用を期待して漢方処方に配合される。
- ② 中薬学では龍骨と同様に安神薬とされる。
- ③ 主成分は炭酸カルシウム CaCO_3 である。
- ④ 牡蠣（右殻）も生薬「牡蠣」として使用できる。
- ⑤ イワガキの貝殻も牡蠣として使用できる。

問 (69) 次の日本薬局方収載生薬の中で、中華人民共和国薬典に収載されていないものはどれか、一つ選べ。

- ① ジュウヤク
- ② カゴソウ
- ③ イカリソウ
- ④ センブリ
- ⑤ センナ

問 (70) 次の黄柏の産地の内、ベルベリンの含量が少ないのはどれか、一つ選べ。

- ① 長野県
- ② 宮崎県
- ③ 鳥取県
- ④ 北海道
- ⑤ 四国

問 (71) 以下に示す生薬の中で、食品として加工できないものはどれか、一つ選べ。

- ① ウコン
- ② ヨクイニン
- ③ オウセイ
- ④ マシニン
- ⑤ コウジン

問 (72) 葛根湯の構成生薬でないもの下記より一つ選べ。

- ① 桂皮
- ② 大棗
- ③ 黄芩
- ④ 芍薬
- ⑤ 生姜

問 (73) 牛車腎気丸に処方されない生薬はどれか、一つ選べ。

- ① 地黄
- ② 牡丹皮
- ③ 車前子
- ④ 牛蒡子
- ⑤ 附子

問 (74) 柴胡桂枝湯について、正しい記載はどれか、一つ選べ。

- ① 本処方のエキス剤はバイカリンを検出しない。
- ② 本処方のエキス剤はグリチルリチン酸を検出しない。
- ③ 味はきわめて甘く、後に苦く、やや辛い
- ④ 桂枝湯に柴胡を加味した処方である。
- ⑤ 小柴胡湯と桂枝湯の合方である。

問 (75) 江戸時代の本草書『薬徴』の著者名を下記より一つ選べ。

- ① 貝原益軒
- ② 香川修庵
- ③ 吉益東洞
- ④ 内藤正賢
- ⑤ 浅田宗伯

問 (76) 『神農本草経』における上薬（上品）、中薬（中品）、下薬（下品）の分類で適切でない組み合わせを下記より一つ選べ。

- ① 人参，当帰，大黄
- ② 茯苓，芍薬，半夏
- ③ 甘草，葛根，杏仁
- ④ 胡麻，黄連，附子
- ⑤ 防已，石膏，竜骨

問 (77) 『傷寒論』と『金匱要略』に関する説明で、正しくないものはいずれか、一つ選べ。

- ① 両書を合わせて『傷寒雑病論』という。
- ② 両書ともに原著者は張仲景とされる。
- ③ 両書ともに江戸時代に古方家と称された漢方医たちがよりどころとした。
- ④ 『傷寒論』ではとくに病機（六病位）が重視される。
- ⑤ 葛根湯は急性熱性病を扱う『傷寒論』のみに収載されている。

問 (78) 『本草綱目』の原著者は誰か、正しいものを一つ選べ。

- ① 張仲景
- ② 李時珍
- ③ 陶弘景
- ④ 小野蘭山
- ⑤ 著者不詳

問 (79) 中国医学の四診とは何か、正しい組み合わせを一つ選べ。

- ① 問診、聞診、舌診、腹診
- ② 舌診、腹診、問診、脈診
- ③ 望診、聞診、問診、切診
- ④ 舌診、腹診、視診、脈診
- ⑤ 脈診、聴診、視診、誤診

問 (80) サフランが多用される伝承医学はどれか、一つ選べ。

- ① アーユルヴェーダ
- ② シツダ
- ③ ジャムナー
- ④ ハーブ療法
- ⑤ ユナニー